

指導と評価の計画

教科名：

国語

科目名：

現代の国語

1 単元名：

スピーチで自分を伝える

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。	「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。	話の効果的な組立て方や接続の仕方について理解し、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(3)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 テーマや時間、スピーチの相手を確認する。 スピーチの題材や原稿を決め、ワークシートに記入する。 		○	○	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認
2 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートをロイロノートで提出する。 グループ内でスピーチの発表をし合い、お互いに評価する。 他者のスピーチと比べて自分のスピーチを振り返り、改善点をまとめる。 	○	○	○	【知識・技能】 ワークシートの記述の確認 【思考・判断・表現】 スピーチの分析・評価 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認

指導と評価の計画

教科名：

国語

科目名：

現代の国語

1 単元名：

『ステレオタイプの落とし穴』

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開をとらえ、要旨や要点を把握している。	言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解し、文章の種類を踏まえて、論理の展開をとらえ、要旨や要点を把握しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(4)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 評論文の特徴を理解する。 本文を通読し、概要をつかむ。 ワークシートへの記入を通して筆者の考えを読み取る。 	○	○	○ ○	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認 【知識・技能】 ワークシートの記述の確認、分析
2 (2)	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成を把握し、要点や要旨を読み取る。 読み取った内容を基にして、要約をする。 		○ ○	○ ○	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認、分析 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認

指導と評価の計画

教科名：

国語

科目名：

現代の国語

1 単元名：

地域の魅力を紹介する

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。	「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。	個別の情報と一般化された情報との関係について理解し、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(6)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 様々な国や地域の観光案内や紹介動画を調べ、どのような工夫がされているかをワークシートに記述する。 ワークシートの記述をグループ、クラスで共有し、紹介の工夫の仕方を理解する。 		○	○	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認
2 (4)	<ul style="list-style-type: none"> 自分の好きな国や地域を紹介するスライドを作成する。 作成したスライドを用いてグループ内で発表する。 お互いの発表を評価し合い、自らの発表を振り返る。 	○	○	○	【知識・技能】 スライドの発表の確認、分析 【思考・判断・表現】 スライドの発表の確認、分析 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 スライドの発表の確認、分析 ワークシートの記述の確認

指導と評価の計画

教科名：

国語

科目名：

現代の国語

1 単元名：

相手に伝わる案内をする

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。	「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。	話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使い、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(3)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 ・場面に応じた案内方法の工夫を理解する。		○	○	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認
2 (2)	・実際に場面を設定し、ペアで案内を実施する。 ・案内が適切であったかを振り返り、改善点をまとめる。	○	○ ○	○ ○	【知識・技能】 案内実践の確認、分析 【思考・判断・表現】 案内実践、ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 案内実践、ワークシートの記述の確認

指導と評価の計画

教科名：

国語

科目名：

現代の国語

1 単元名：

法律の改正に関わる文章を読み比べる

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p>	<p>「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。</p>	<p>実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにし、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めようとしている。</p>

3 単元の指導と評価の計画

(3)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 法律の改正に関する資料と、新聞記事を読み、気づいたことをグループで書き出す。 グループの意見をまとめ、クラス全体で共有する。 		○	○	<p>【思考・判断・表現】</p> <p>ワークシートの記述の確認</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>ワークシートの記述の確認</p>
2 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 事例を一つ挙げ、その事例が法律の文言に当てはまるかを検討し、説明する。 	○	○	○	<p>【知識・技能】</p> <p>ワークシートの記述の確認、分析</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>ワークシートの記述の確認、分析</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>ワークシートの記述の確認</p>

指導と評価の計画

教科名：

国語

科目名：

現代の国語

1 単元名：

自校の生徒の生活実態を調査する

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。	「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。	個別の情報と一般化された情報との関係について理解し、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(5)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 レポートの書き方を例を参考にしながら理解する。 調査方法の種類を理解し、自分のレポートに適した調査方法を選択する。 アンケートの作成方法を理解する。 		○ ○ ○	○ ○ ○	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認
2 (3)	<ul style="list-style-type: none"> テーマを設定し、そのテーマに適した調査を実施し、レポートにまとめる。 グループ内でレポートを読み合い、お互いに評価する。 自分のレポートに対する評価を振り返り、改善点をまとめる。 	○	○ ○ ○	○ ○ ○	【知識・技能】 レポートの確認、分析 【思考・判断・表現】 レポートの確認、分析 【主体的に学習に取り組む態度】 レポートの記述の確認

1 単元名：

『舟を編む』

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	叙述を基に人物像や心情を捉え、学習課題に沿ってまとめようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(6)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方を確認し、学習の見直しをもつ。 全文を読み通し、初読の感想を書く。 本文中の漢字の書き取りや語句の意味調べを行うことで語彙を豊かにし、それらを短文を作成する中で使用する。 	○		○	【知識・技能】 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認
2 (4)	<ul style="list-style-type: none"> 話の構成と展開を理解し、せりふや行動から人物像と心情を読み取る。 小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 「西行」の例を通して、言葉の多様性を理解する。 	○	○ ○ ○		【知識・技能】 定期試験 【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 定期試験
3 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物のやりとりを踏まえて、「言葉を大切にすることはどういうことか」について考えて共有する。 単元の学習をワークシートで振り返る。 		○	○	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認

1 単元名：

伊勢物語『芥川』

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語の決まりや訓読の決まり、古典特有の表現などについて理解している。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。	歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(6)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 語句の量を増やし語彙を豊かにする。 形容詞、形容動詞、助動詞について、文語のきまりを理解する。動詞についても復習する。 	○ ○			【知識・技能】 ワークシートの記述の確認 定期試験
2 (3)	<ul style="list-style-type: none"> 和歌の修辞法を理解し、文中での働きや役割を押さえることで、歌物語の特徴を理解する。 歌物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 話の展開や「男」の行動を整理することで、和歌に込められた「男」の心情を理解する。 	○	○ ○ ○		【知識・技能】 ワークシートの記述の確認 定期試験 【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 定期試験
3 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 物語と和歌のかかわりについて考えたことをまとめ、共有する。 単元の学習をワークシートで振り返る。 		○	○ ○	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認

1 単元名：

『漁夫之利』

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。	故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(6)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 漢文の訓読のきまりを理解する。 	○			【知識・技能】 ワークシートの記述の確認 定期試験
2 (3)	<ul style="list-style-type: none"> 寓話を通して、日本語の中に生きる漢文由来の言葉の成立背景を捉える。 「故事成語」という文章の種類や解説文を踏まえて、本文の内容や展開を理解する。 登場人物それぞれの立場を整理し、話のおもしろさを読み取る。 		○ ○ ○		【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 定期試験
3 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 漢文に基づく故事成語が現代の日本語でどのように用いられているかを考え、まとめる。 単元の学習をワークシートで振り返る。 		○	○ ○	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認

1 単元名： 徒然草『ある人、弓射ることを習ふに』

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語の決まりや訓読の決まり、古典特有の表現などについて理解している。	「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	本文中に表れた作者の批判・教訓・感動などを積極的に読み取り、考えたことを伝え合おうとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(4)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 ・主として助動詞について、文語のきまりを理解する。動詞、形容詞、形容動詞についても復習する。	○			【知識・技能】 ワークシートの記述の確認 定期試験
2 (2)	・随筆という文章の種類を踏まえて、筆者の主張を捉える。 ・登場人物のやりとりを通して、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を理解する。		○ ○		【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 定期試験
4 (1)	・筆者の主張を踏まえて自分なりに教訓を考え、まとめる ・単元の学習をワークシートで振り返る。		○	○	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認

単元（題材）の指導と評価の計画 教科名：

国語

科目名：

言語文化

1 単元名：

〔言語活動〕 本歌取りを用いて短歌を作る

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。	「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。	進んで折句の技法と伝統を理解し、学習課題に沿って折句を用いて短歌を創作しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(2) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 本歌取りという表現技法とその効果について理解する。 教科書掲載分の短歌を鑑賞し、本歌とする短歌を決める。 	○	○		【知識・技能】 ワークシートの記述の確認 定期試験 【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 定期試験
2 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 本歌取りのきまりを踏まえて、好きな歌を本歌とした短歌を創作する。 単元の学習をワークシートで振り返る。 		○	○	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認

指導と評価の計画

教科名：

公民

科目名：

公共

1 単元名：

司法参加の意義

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
国民の権利を守り社会の秩序を維持するために法に基づく公正な裁判が保障され、公正な裁判のためには司法権の独立が必要であり国民の参加が大切であることを理解している。	模擬裁判など司法の手続きを模倣的に体験することにより、裁判や法律家が果たす役割、適正な手続き証拠や、論拠に基づき公平・公正に判断することについて多面的・多角的に考察、構想し表現している。	主権者として、司法に関心を持ち、積極的に参画する責任について自覚を持ち、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(3)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	司法権と日本の裁判制度 裁判所のしくみと働きについて理解する。	○			【知識・技能】 ・「ワークノート」の確認
2 (1)	司法参加の意義 司法権の独立の意義について考える。			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・「授業プリント（ノート）」の確認 ・小テストの確認
3 (1)	模擬裁判 「模擬裁判」を事例に、裁判や法律家が果たす役割、適正な手続き、証拠や論拠に基づき公平・公正に判断することについて多面的・多角的に考察、表現する。		○		【思考・判断・表現】 ・「授業プリント（ノート）」や「ワークノート」への記述の確認

指導と評価の計画

教科名：

公民

科目名：

公共

1 単元名：

政治参加と民主政治の課題

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
民主政治は多数決が基本であるが、その際には少数者の権利や意見の尊重が必要であること、国民の多様な意見を国政や地方の政治に十分に反映させるために、表現の自由の保障が重要であること、世論の形成に当たっては、政党の役割、圧力団体や住民運動の影響、マス・コミュニケーションの働きが大きいことを理解している。	自らが居住している地域社会の課題に関して必要な情報を適切かつ効果的に収集、考察し、関連する世論調査の結果の分析などを行い、社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。	平和で民主的な国家及び社会の形成者となることについての自覚や、政治に参加することの重要性についての理解を深め、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(5)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	選挙の役割と意義 選挙制度の役割や意義について、日本や世界の選挙制度を見比べ多面的・多角的に表現する。		○		【思考・判断・表現】 ・「授業プリント（ノート）」や「ワークノート」への記述の確認
2 (1)	政党の役割 政党の役割や課題について日本の事例などをもとに、多面的・多角的に表現する。		○		【思考・判断・表現】 ・「授業プリント（ノート）」や「ワークノート」への記述の確認
3 (1)	地方自治の現状と課題 地方自治のしくみと意義や選挙のしくみと課題について理解する。	○			【知識・技能】 ・「ワークノート」の確認
4 (1)	世論の形成と政治参加 「模擬請願」を事例に、現在住んでいる自治体が抱える課題について適切に情報を収集し、読み取って、課題の解決の在り方について考察、構想する。			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・「授業プリント（ノート）」の確認 ・小テストの確認
5 (1)	民主政治の基本原則と世論 諸資料から、民主政治において世論が果たす役割と課題について読み取る。			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・「授業プリント（ノート）」の確認 ・小テストの確認

指導と評価の計画

教科名：

公民

科目名：

公共

1 単元名：

国際政治の動向

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
国内政治とは異なる特質がある国際政治に関して、相互に対等なものとして尊重される主権国家の行動を規律し国際間の秩序をつくり出す国際法の意義と役割について理解している。また、グローバル化の中で国際法の重要性が高まってきていることを理解している。	領土問題や戦後の国際情勢、現代の紛争については、様々な国家間で未解決の問題があり、平和的な解決に向けて広い視野に立ち、事実を基に多面的・多角的に考察している。	領土問題や、日本人拉致事件問題など、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(2)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	国際社会と国際法 諸資料から、国際社会における国家主権の意味と、国際関係を規律する国際法の意義及びその発達について読み取る。			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・「授業プリント（ノート）」の確認 ・小テストの確認
2 (1)	戦後の国際情勢 第二次世界大戦後、世界の体制はどのような展開をしたのかを理解する。また、その歴史の中で、核拡散防止の現状と核軍縮に向けた取り組みについて理解する。	○			【知識・技能】 ・「ワークノート」の確認
3 (1)	現代の紛争 諸資料を基に、現代社会における紛争についてその要因や今後の動きについて多面的・多角的に表現している。		○		【思考・判断・表現】 ・「授業プリント（ノート）」や「ワークノート」への記述の確認

指導と評価の計画

教科名：

公民

科目名：

公共

1 単元名：

国際政治の課題と日本の役割

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日本国憲法の平和主義や日本の防衛に関する基本的な事柄について理解している。また、変化する国際情勢の中で日本の安全が世界の平和の維持と関連していることについて理解している。	日本の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における日本の役割について多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	国際連合憲章や日米安全保障条約などの条約や平和主義を掲げる日本国憲法の下、変化する国際情勢の中で、日本の安全と平和を維持するための取り組みや課題を追究したり解決したりしようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(5)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	日本の安全保障 具体的な事例を通して、我が国の安全保障に自衛隊の果たしてきた役割を理解するとともに、日本の安全保障の在り方について理解する。	○			【知識・技能】 ・「ワークノート」の確認
2 (1)	日本の防衛体制 日本の戦後における外交のあゆみを通して、平和な社会を作るために日本の外交が果たしてきた役割とその課題について多面的・多角的に表現する。		○		【思考・判断・表現】 ・「授業プリント（ノート）」や「ワークノート」への記述の確認
3 (1)	軍縮への動き 諸資料から、核拡散防止の現状と核軍縮に向けた取り組みについて読み取る。			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・「授業プリント（ノート）」の確認 ・小テストの確認
4 (1)	国際連合の組織と課題 国際連合と国際機関の意義と役割について理解する。	○			【知識・技能】 ・「ワークノート」の確認
5 (1)	世界の人権問題と日本 世界の人権問題に対する、日本の取り組みについて諸資料をもとに多面的・多角的に表現する。		○		【思考・判断・表現】 ・「授業プリント（ノート）」や「ワークノート」への記述の確認

1 単元名：

経済の仕組みと産業の変化

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
職業選択、雇用と労働問題などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して、より活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。	働くことの意義や産業構造の変化、労働契約や現代の労働問題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	人工知能（AI）の進化による労働市場への影響や、技術革新・産業構造の変化により働き手に求められる能力は何か、労使間で結ぶ労働契約や現代の労働問題について主体的に追究したり解決したりしようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(6)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	経済生活のしくみ 市場メカニズムなど経済の基礎的なしくみと概念について理解する。	○			【知識・技能】 ・「ワークノート」の確認
2 (1)	企業の働きと役割 企業の役割とはたらきについて多面的・多角的に考察、表現する。		○		【思考・判断・表現】 ・「授業プリント（ノート）」や「ワークノート」への記述の確認
3 (1)	日本を支える中小企業と農業 日本社会における中小企業や農業の役割や課題について理解する。	○			【知識・技能】 ・「ワークノート」の確認
4 (1)	産業構造の変化と職業 「職業選択」を事例に、社会の急激な変化や、それに対応する社会的な起業の意義とともに、働くことの意義について考察する。			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・「授業プリント（ノート）」の確認 ・小テストの確認
5 (1)	労働者の権利 「雇用と労働」を事例に、労働者の権利や労働契約を巡る法規制の形態について考察する。			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・「授業プリント（ノート）」の確認 小テストの確認
6 (1)	現代の労働問題 日本型雇用慣行および労働者をめぐる状況の変化について理解する。		○		【思考・判断・表現】 ・「授業プリント（ノート）」や「ワークノート」への記述の確認

指導と評価の計画

教科名：

公民

科目名：

公共

1 単元名：

法と契約

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
法や規範の意義及び役割、多様な契約及び消費者の権利と責任などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きにのっとり、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解している。	法、政治及び経済などの側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。	自立した主体としてよりよい社会の形成に参画することに向けて、現実社会の諸課題に関わる具体的な主題を設定し、他者と協働して主題を追究したり解決したりしようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(3)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	法・規範の意義と役割 「市場経済の機能と限界」を事例にして、市場の失敗の事例とその対応方法について考察する。			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・「授業プリント（ノート）」の確認
2 (1)	経済社会とルール 市場メカニズムなど経済の基礎的なしくみと概念について理解する。	○			【知識・技能】 ・「ワークノート」の確認 ・小テストの確認
3 (1)	契約と消費者の権利 事例などの諸資料から、消費者の権利や現代における課題について考察し、表現する。		○		【思考・判断・表現】 ・「授業プリント（ノート）」や「ワークノート」への記述の確認

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学 I

1 単元名：

式の計算

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①複雑な式の展開やいろいろな因数分解では、置き換えや式の変形などを理解している。 ②式の展開と因数分解の相互の関係や乗法と因数分解の公式の意味を理解している。	①数式に対していろいろな見方ができ、乗法公式や因数分解の公式などを目的に応じて処理することができる。 ②見通しを持って式を展開したり、因数分解することができる。	①式の展開や因数分解に関心をもち、目的に応じて式を変形しようとしている。 ②いろいろな公式などを利用して、複雑な式を簡単な式に整理しようとしている。 ③乗法公式や因数分解の公式などを目的に応じて処理しようとし、見通しを持って式を展開したり、因数分解しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(15)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (4)	○整式とその加法・減法 ・置き換えや式の変形についての基本事項を学ぶ。 ・例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・解答をしながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。	○	○	○	【知識・技能】 ・課題プリント ・定期試験(後日) 【思考・判断・表現】 ・課題プリント ・定期試験(後日) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取組みの様子 ・ノート確認
2 (5)	○整式の乗法 ・展開の公式について、基本事項を学ぶ。 ・例題を用いて、基本事項をどう活用するか考えて、ノートに解く。 ・教科書の問題を解き、様々なパターンに慣れる。 ・解答をしながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。	○	○	○	【知識・技能】 ・定期試験(後日) ・確認テスト 【思考・判断・表現】 ・定期試験(後日) ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取組みの様子 ・ノート確認
3 (6)	○因数分解 ・因数分解の公式について、基本事項を学ぶ。 ・例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・教科書の問題を解き、様々なパターンに慣れる。 ・解答をしながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。	○	○	○	【知識・技能】 ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト 【思考・判断・表現】 ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取組みの様子 ・ノート確認

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学 I

1 単元名：

実数

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①分数が循環小数で表されることを理解している。 ②有理数と無理数の違い、さらに数を実数まで拡張することの意義を理解している。 ③絶対値の意味を理解している。 ④根号を含む式の加・減・乗・除の計算ができる。また、分母の有理化ができる。	①四則演算を可能にするために数が拡張されてきた過程を考察することができる。 ②分母に根号を含む式について、分母を有理化する方法を考察しようとしている。	①数を実数まで拡張する意義に気付くとともに過程にも関心を持ち調べようとしている。 ②二重根号について調べようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(7)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	○実数 ・数を実数まで拡張することの意義や数の体系についての理解を深める。 ・分数と小数の関係について理解する。 ・絶対値記号の意味を理解する。 ・解答をしながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。	○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○	【知識・技能】 ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト 【思考・判断・表現】 ・課題プリント ・定期試験(後日) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取組みの様子 ・ノート確認
2 (4)	○根号を含む式の計算 ・根号を含む式の四則計算の方法を学ぶ。 ・分母に根号を含む式について、分母を有理化する方法を考える。 ・二重根号をはずし、簡単にする。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。	○ ○ ○	○ ○ ○		【知識・技能】 ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト 【思考・判断・表現】 ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト

指導と評価の計画

教科名： 数学

科目名： 数学 I

1 単元名：

1次不等式

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①不等号の意味を理解し、数量の大小関係を式で表すことができる。 ②不等式の性質を理解して、1次不等式を解くことができる。 ③絶対値記号を含んだ方程式や不等式を解くことができる。 ④連立不等式の解の意味について理解することができる。	①不等式の性質をもとにして、1次不等式の解き方を考察することができる。 ②連立不等式の解を、数直線上に表現することができる。 ③身近な問題を、1次不等式の問題に帰着させ、解について考察することができる。	①数量の関係を不等式で表し、1次不等式を活用しようとする。 ②絶対値記号を含んだ方程式や不等式の扱い方を理解し、調べようとする。 ③具体的な事象の考察に1次不等式を活用しようとする。

3 単元の指導と評価の計画

(11)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	○不等号と不等式 ・不等式とその解の意味を理解し、1次不等式の解法に習熟させ、大小に関する身近な問題の解決に活用できるようにする。 ・解答をしながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。	○ ○ ○		○ ○	【知識・技能】 ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取組みの様子 ・ノート確認
2 (4)	○不等式の性質 ・不等式の性質をもとにして、不等式の解き方を理解する。 ・1次不等式の解について、数直線と対比したり、いろいろな数値を代入したりして考察する。 ・解答をしながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。	○	○ ○ ○ ○	○ ○	【知識・技能】 ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト 【思考・判断・表現】 ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取組みの様子 ・ノート確認
3 (4)	○1次不等式 ・1次不等式を解く。 ・連立不等式の解を数直線上に表す。 ・数量の関係を1次不等式で表す。 ・解答をしながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	【知識・技能】 ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト 【思考・判断・表現】 ・ノート確認 ・確認テスト

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学 I

1 単元名：

集合と論証

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①集合の特徴に応じて、集合を表したり、ベン図に示したりすることができる。 ②2つの集合の関係を理解し、記号を用いて表すことができる。 ③命題について、集合の包含関係と関連付けて理解できる。 ④必要条件、十分条件などや逆、裏、対偶などの用語や使い方を理解している。	①命題の真偽を、集合の包含関係と結びつけてとらえることができる。 ②対偶や背理法について理解し、命題を証明するのにこれらを適切に用いることができる。	①必要条件、十分条件など数学的な論理に必要な言葉を適切に使って表現することができる。 ②ド・モルガンの法則が成り立つことを、図を用いて確かめようとする。

3 単元の指導と評価の計画

(6)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	○集合 ・集合の2通りの表し方を理解する。 ・部分集合や空集合、共通部分、和集合、補集合について理解する。 ・ド・モルガンの法則が成り立つことを、図を用いて確かめる。 ・解答をしながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。	○ ○		○	【知識・技能】 ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取り組みの様子 ・ノート確認
2 (2)	○命題と条件 ・命題の真偽について理解し、偽の場合には反例を示す。 ・必要条件、十分条件および必要十分条件という用語とその意味を理解する。 ・条件の否定や2つ以上の条件の「かつ」「または」について理解する。 ・解答をしながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○		【知識・技能】 ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト 【思考・判断・表現】 ・ノート確認 ・確認テスト
3 (2)	○逆・裏・対偶 ・命題の逆、裏、対偶について、考察する。 ・もとの命題とその対偶の真偽が一致することを、具体例を挙げて確認する。 ・対偶や背理法を利用し、間接証明法で命題を証明する。 ・解答をしながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。		○ ○ ○	○ ○ ○	【思考・判断・表現】 ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取り組みの様子 ・ノート確認

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学 I

1 単元名：

2次関数とそのグラフ

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①定義域や値域について理解している。 ②関数 $y=ax^2+bx+c$ のグラフが、関数 $y=ax^2$ のグラフを平行移動したものであることを理解している。	①座標平面上で、 $y=ax^2$ のグラフを平行移動していく過程を作業を通して理解し、グラフをかくことができる。 ②定義域が限られた2次関数における最大値・最小値は、頂点を考慮して求めることを理解し、関数 $y=ax^2+bx+c$ を $y=a(x-p)^2+q$ の形に変形することができる。 ③2次関数のグラフの頂点の座標と軸の方程式を求めることができる。	①2次関数 $y=ax^2+bx+c$ を $y=a(x-p)^2+q$ に変形する計算に意欲をもって取り組もうとし、グラフの頂点や軸の方程式について基礎的な知識を身に付けようとしている。 ②関数関係を変化する2つの量の関係としてとらえ、式やグラフに表そうとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(14)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	○関数とグラフ ・関数の定義や $f(x)$ について理解する。 ・1次関数の傾きや切片について確認し、グラフをかく。 ・1次関数のグラフを使って、最大値・最小値について考える。 ・解答をしながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。	○ ○	○	○	【知識・技能】 ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト 【思考・判断・表現】 ・ノート確認 ・確認テスト
2 (4)	○2次関数のグラフ ・2次関数のグラフの概形をかく。 ・軸や頂点、上下どちらに凸かの見分け方を理解する。 ・放物線におけるx軸方向、y軸方向の平行移動を理解し、グラフをかく。 ・平方完成の計算を習得する。 ・解答をしながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。		○ ○	○	【思考・判断・表現】 ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取組みの様子 ・ノート確認
3 (4)	○2次関数の最大・最小 ・2次関数のグラフより、値域について理解し、最大値や最小値を求める。 ・2次関数を利用して、面積の最小値などを求める。 ・解答をしながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。		○ ○	○	【思考・判断・表現】 ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取組みの様子 ・ノート確認
4 (3)	○2次関数の決定 ・与えられた放物線のグラフや条件から、その2次関数の式を求める。 ・通る3点が与えられた2次関数の式を求める際に連立3元1次方程式を解く。 ・解答をしながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。	○ ○	○	○	【知識・技能】 ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト 【思考・判断・表現】 ・ノート確認 ・確認テスト

1 単元名：

2次方程式と2次不等式

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① $y=ax^2+bx+c$ のグラフとx軸との共有点の個数は、Dの符号によって分類されることを理解している。	① $y=ax^2+bx+c$ のグラフとx軸との共有点のx座標と2次方程式や2次不等式の解についての考察や、2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係を理解し、2次不等式の解を2次関数のグラフを用いて考察することができる。 ② $y=ax^2+bx+c$ のグラフとx軸との共有点のx座標は、2次方程式の実数解であることを理解し、2次方程式の解の個数や2次不等式の解を求めることができる。 ③点の個数を $D=b^2-4ac$ を計算することにより、その符号で判断できる。	①2次不等式の解の意味を2次関数のグラフとの関係から理解して、2次不等式を解こうとしている。 ②2次関数のグラフとx軸との位置関係について調べて、2次不等式の解のタイプ分けをしようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(8)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (4)	○2次関数のグラフと2次方程式 ・1次関数のグラフと1次方程式の関係性を確認する。 ・2次関数のグラフと2次方程式の関係性を確認する。 ・因数分解や解の公式を利用して、2次方程式を解く。 ・判別式Dを用いて、2次方程式の解の個数を求める。 ・2次関数のグラフとx軸の位置関係を理解し、判別式Dを用いて、条件を求める。 ・解答しながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。	○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	【知識・技能】 ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト 【思考・判断・表現】 ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取組みの様子 ・ノート確認
2 (4)	○2次関数のグラフと2次不等式 ・1次関数のグラフと1次不等式の関係性を確認する。 ・2次関数のグラフと2次不等式の関係性を確認する。 ・因数分解や解の公式を利用して、2次不等式を解く。 ・グラフの概形を用いて、2次不等式の解を求める。 ・連立2次不等式の解を求める。 ・解答しながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	【知識・技能】 ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト 【思考・判断・表現】 ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の取組みの様子 ・ノート確認

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学 I

1 単元名：

三角比

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①三角比の表の意味を理解している。</p> <p>②三角比の相互関係について理解し、基礎的な知識を身に付けている。</p>	<p>①座標平面上の半円を用いて、鈍角まで拡張した三角比について考察することができ、具体的な事象について三角比を使って考察することができる。</p> <p>②三角比の相互関係を用いて、与えられた三角比の値から残りの三角比の値を求めることができ、30° 45° 60° の三角比を直角三角形の辺の比から求めることができる。</p> <p>③鈍角の三角比を鋭角の三角比で表すことができる。</p>	<p>①三角比の相互関係や鈍角の三角比を考えることに興味をもち、鋭角の三角比との関係について考察しようとする。</p>

3 単元の指導と評価の計画

(8)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	<p>○三角比</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直角三角形を用いて、正弦(sin)、余弦(cos)、正接(tan)の定義について理解する。 ・30° 45° 60° の三角比の値を求める。 ・三角比の表から値を読み取り、角の大きさを求める。 ・三角比を利用して、距離や高さ、大きさを求める。 ・解答しながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。 	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>		<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取組みの様子 ・ノート確認
2 (2)	<p>○三角比の性質</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相互関係の式について理解し、利用して計算する。 ・$90^\circ - \theta$ の三角比の公式を用いて、45° 以下の三角比に変換する。 ・解答しながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。 		<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・ノート確認 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト
3 (3)	<p>○三角比の拡張</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単位円や直角三角形を使って、180° までの三角比を求める。 ・$180^\circ - \theta$ の三角比を90° 以下の三角比の値を用いて求める。 ・相互関係の式について理解し、利用して計算する。 ・解答しながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。 	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>○</p> <p>○</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期試験(後日) ・確認テスト <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期試験(後日) ・確認テスト <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリント ・授業中の取組みの様子 ・ノート確認

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学 I

1 単元名：

三角比と図形の計量

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①三角比を用いた平面図形や空間図形の計量に関する知識を身に付けている。	①三角比を用いて、三角形の面積表す過程や空間図形の計量の考察し、三角比や正弦定理・余弦定理などを用いて平面図形や空間図形を計量することができる。 ②正弦定理・余弦定理などを用いて、三角形の残りの要素を求めることができる。	①正弦定理や余弦定理を用いて、三角形の辺の長さや角の大きさを調べようとし、三角比を用いて三角形の面積や空間図形の計量に活用しようとする。

3 単元の指導と評価の計画

(11)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	○正弦定理 ・正弦定理の公式を理解する。 ・正弦定理を用いて、三角形の辺の長さや角の大きさ、外接円の半径を求める。 ・解答しながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。		○	○ ○ ○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノート確認 【思考・判断・表現】 ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト
2 (4)	○余弦定理 ・余弦定理の公式を理解する。 ・余弦定理を用いて、三角形の辺の長さや角の大きさを求める。 ・正弦定理と余弦定理を用いて、三角形の辺の長さや角の大きさを求める。 ・解答しながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。		○ ○	○ ○ ○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノート確認 【思考・判断・表現】 ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト
3 (2)	○三角形の面積 ・三角形の面積の公式について理解する。 ・三角形の面積を用いて、内接円の半径を求める。 ・解答しながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。		○	○ ○ ○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノート確認 【思考・判断・表現】 ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト
4 (3)	○空間図形の計量 ・正弦定理や余弦定理を用いて、空間図形の辺の長さや角の大きさを求める。 ・空間図形における切断面の図の形を理解する。 ・確認テストを行う。	○ ○	○ ○		【知識・技能】 ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト 【思考・判断・表現】 ・ノート確認 ・確認テスト

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学A

1 単元名：

場合の数

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①様々な集合の要素の個数を求めることができる。 ②場合の数や順列、組合せについての基本的な概念、法則・定理、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身に付けている。 ③順列や組合せの総数が求められる。	①場合の数の求め方に見通しをもち、場面に応じた式をたてて計算ができる。 ②順列や組合せの総数を表す記号を用いることよさを認識できる。 ③いろいろな組合せの問題に対し、組合せの記号を用いて表し、その総数を求めることができる。	①具体的な事象の考察に集合の要素の考え方を活用しようとしている。 ②順列や組合せの意味を理解し、公式を導く過程に興味を示す。 ③積の法則・和の法則を理解し、具体的な場合に 응용しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(11)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	・教科書やスライドを用いて集合と要素についての基本事項を学び、必要なことをノート等を書く。 ・教科書の例題を基に、学んだ知識をどう活用するか考える。 ・練習問題を解くことで、知識や考え方を整理し、定着させる。	○		○	【知識・技能】 プリント、問題集等の記述を確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ノート等への記入を確認
2 (2)	・教科書やスライドを用いて集合の要素の個数についての基本事項を学び、必要なことをノート等を書く。 ・教科書の例題を基に、学んだ知識をどう活用するか考える。 ・練習問題を解くことで、知識や考え方を整理し、定着させる。 ・これまでの学習内容を振り返る ・これまでの内容の小テスト	○	○	○	【知識・技能】 プリント、問題集等の記述を確認、小テスト 【思考・判断・表現】 小テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りシート
3 (2)	・教科書やスライドを用いて場合の数についての基本事項を学び、必要なことをノート等を書く。 ・教科書の例題を基に、学んだ知識をどう活用するか考える。 ・練習問題を解くことで、知識や考え方を整理し、定着させる。 ・これまでの学習内容を振り返る ・小テスト	○	○	○	【知識・技能】 プリント、問題集等の記述を確認、小テスト 【思考・判断・表現】 プリント、問題集等の記述を確認、小テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りシート
4 (2)	・教科書やスライドを用いて順列についての基本事項を学び、必要なことをノート等を書く。 ・教科書の例題を基に、学んだ知識をどう活用するか考える。 ・練習問題を解くことで、知識や考え方を整理し、定着させる。 ・これまでの学習内容を振り返る ・小テスト	○	○	○	【知識・技能】 プリント、問題集等の記述を確認、小テスト 【思考・判断・表現】 プリント、問題集等の記述を確認、小テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りシート

5 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書やスライドを用いて組合せについての基本事項を学び、必要なことをノート等を書く。 ・教科書の例題を基に、学んだ知識をどう活用するか考える。 ・練習問題を解くことで、知識や考え方を整理し、定着させる。 ・これまでの学習内容を振り返る ・小テスト 	○	○	○	<p>【知識・技能】 プリント、問題集等の記述を確認、小テスト</p> <p>【思考・判断・表現】 プリント、問題集等の記述を確認、小テスト</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りシート</p>
6 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 	○	○		<p>【知識・技能】 定期試験の解答</p> <p>【思考・判断・表現】 定期試験の解答</p>

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学A

1 単元名：

確率

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①確率についての概念、定理、用語、記号、試行の独立や条件つき確率の意味を理解している。 ②簡単な事象の確率を求めたり、その求め方を説明したりすることができる。 ③反復試行の確率や条件つき確率の計算ができる。	①いろいろな場面に応じて、場合の数や確率の求め方を考えることができる。 ②起こり得る場合の数について、「同様に確からしい」ことに着目して正確かつ能率的に数えあげることができる。 ③期待値を求め、意思決定に活用することができる。	①確率の考え方のよさを認識して、いろいろな事象の考察に活用しようとしている。 ②反復試行や条件つき確率の考え方について関心をもつ。 ③起こり得る場合の数を、もれや重複がないように、見通しをもって、能率的に調べようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(11)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	○事象と確率 ・使用される用語や記号をノートやプリントに整理し理解する。 ・日常の具体的な事象と関連付けながら事象の確率を求める。 ・デイリー課題に取り組む（2週間に1回）	○	○		【知識・技能】 ・プリントやデイリー課題の記述の確認 ・確認テスト、定期試験（後日）の記述の確認 【思考・判断・表現】 ・確認テスト、定期試験（後日）の記述の確認
2 (2)	○確率の基本性質 ・使用される用語や記号をノートやプリントに整理し理解する。 ・複雑な事象の確率について具体的な事象と関連付けながら考察する。 ・振り返りシートで理解できた点と難しかった点を整理し、今後の学習の進め方の見通しを考える。（1次、2次の振り返り） ・デイリー課題に取り組む（2週間に1回）	○	○	○	【知識・技能】 ・プリントやデイリー課題の記述の確認 ・確認テスト、定期試験（後日）の記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・振り返りシート ・問題集 ・デイリー課題などの記述の分析
3 (2)	○独立な試行と確率 ・独立な試行や反復試行の確率を具体的な事象と関連付けながら求める。 ・デイリー課題に取り組む（2週間に1回）	○		○	【知識・技能】 ・プリントやデイリー課題の記述の確認 ・確認テスト、定期試験（後日）の記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・振り返りシート ・問題集 ・デイリー課題などの記述を確認

4 (2)	<p>○条件つき確率と乗法定理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・条件つき確率を具体的な事象と関連付けながら考察する。 ・デイリー課題に取り組む（2週間に1回） 	○	○	○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プリントやデイリー課題の記述の確認 ・確認テスト、定期試験（後日）の記述の確認 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確認テスト、定期試験（後日）の記述の確認 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシート ・問題集 ・デイリー課題などの記述を確認
5 (2)	<p>○期待値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な事象と関連付けながら期待値を求める。 ・振り返りシートで理解できた点と難しかった点を整理し、今後の学習の進め方の見通しを考える。（3次、4次、5次の振り返り） 	○	○	○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プリントやデイリー課題の記述の確認 ・確認テスト、定期試験（後日）の記述の確認 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確認テスト、定期試験（後日）の記述の確認 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシート ・問題集 ・デイリー課題などの記述を確認
後日	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験に取り組む 	○	○		定期試験

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学A

1 単元名：

三角形の性質

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①三角形についてのいろいろな性質について理解し、線分の比や長さを求めることができる。 ②重心、内心、外心の存在や、それぞれに関わる性質について理解し、角の大きさや線分の長さを求めることができる。 ③メネラウスの定理、チェバの定理について理解し、それらを利用して、線分の比や長さを求めることができる。	①三角形の角の二等分線と線分の比の性質について、その証明を通して考察することができる。 ②重心、内心、外心などの存在や性質について、その証明を通して考察することができる。 ③メネラウスの定理、チェバの定理について、その証明を通して考察することができる。	①三角形のさまざまな性質について、いろいろな方法で調べようとしている。 ②平面図形の性質に興味・関心をもち、三角形の性質を利用しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(8)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	○三角形と線分の比 ・使用される用語や定理をノートやプリントに整理し理解する。 ・定理を用いて、図形の線分の長さなどを求める。 ・定理の証明を確認し、図形の性質を考察する。 ・確認テストに取り組む。 ・デイリー課題に取り組む(2週間に1回)	○	○		【知識・技能】 ・プリントやデイリー課題の記述の確認 ・確認テスト、定期試験(後日)の記述の確認 【思考・判断・表現】 ・確認テスト、定期試験(後日)の記述の確認
2 (3)	○三角形の重心・内心・外心 ・使用される用語や定理をノートやプリントに整理し理解する。 ・重心、内心、外心の性質を用いて、図形の線分の長さや角の大きさを求める。 ・重心、内心、外心の性質の証明を確認し、図形の性質を考察する。 ・確認テストに取り組む。 ・振り返りを行い、理解できた点と難しかった点を整理し、今後の学習に活かす。 ・デイリー課題に取り組む(2週間に1回)	○	○		【知識・技能】 ・プリントやデイリー課題の記述の確認 ・確認テスト、定期試験(後日)の記述の確認 【思考・判断・表現】 ・確認テスト、定期試験(後日)の記述の確認
3 (3)	○メネラウスの定理とチェバの定理 ・使用される用語や定理をノートやプリントに整理し理解する。 ・メネラウスの定理やチェバの定理を用いて、図形の線分の長さを求める。 ・メネラウスの定理やチェバの定理の証明を確認し、図形の性質を考察する。 ・確認テストに取り組む。 ・振り返りを行い、理解できた点と難しかった点を整理し、今後の学習に活かす。 ・デイリー課題に取り組む(2週間に1回)	○		○	【知識・技能】 ・プリントやデイリー課題の記述の確認 ・確認テスト、定期試験(後日)の記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・振り返りシート ・問題集 ・デイリー課題などの記述を確認

後日	・ラウンドノートに取り組む ・定期試験に取り組む	○	○	○	・ラウンドノート ・定期試験
----	-----------------------------	---	---	---	-------------------

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学A

1 単元名：

円の性質

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①円のもついろいろな性質について理解している。 ②2つの円の位置関係や共通接線について理解し、2円の半径と中心間の距離との関係に着目して分類し、線分の長さを求めることができる。	円についてのさまざまな性質を用いて、図形の問題を処理し、解決することができる。	円の性質について興味・関心を持ち、それらの性質について調べようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(8)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	○円に内接する四角形 ・使用される用語や定理をノートやプリントに整理し理解する。 ・円に内接する四角形の性質を用いて、図形の角の大きさを求める。 ・円に内接する四角形の性質の証明を確認し、図形の性質を考察する。 ・確認テストに取り組む。 ・振り返りを行い、理解できた点と難しかった点を整理し、今後の学習に活かす。 ・デイリー課題に取り組む(2週間に1回)	○ ○ ○ ○ ○ ○		○ ○	【知識・技能】 ・プリントやデイリー課題の記述の確認 ・確認テスト、定期試験(後日)の記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・振り返りシート ・問題集 ・デイリー課題などの記述を確認
2 (2)	○円の接線と弦のつくる角 ・使用される用語や定理をノートやプリントに整理し理解する。 ・円の接線の性質や接線と弦のつくる角の性質を用いて、図形の線分の長さや角の大きさを求める。 ・接線と弦のつくる角の性質の証明を確認し、図形の性質を考察する。 ・確認テストに取り組む。 ・デイリー課題に取り組む(2週間に1回)	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○		【知識・技能】 ・プリントやデイリー課題の記述の確認 ・確認テスト、定期試験(後日)の記述の確認 【思考・判断・表現】 ・確認テスト、定期試験(後日)の記述の確認
3 (2)	○方べきの定理 ・使用される用語や定理をノートやプリントに整理し理解する。 ・方べきの定理を用いて、図形の線分の長さを求める。 ・方べきの定理の証明を確認し、図形の性質を考察する。 ・確認テストに取り組む。 ・振り返りを行い、理解できた点と難しかった点を整理し、今後の学習に活かす。 ・デイリー課題に取り組む(2週間に1回)	○ ○ ○ ○ ○ ○		○	【知識・技能】 ・プリントやデイリー課題の記述の確認 ・確認テスト、定期試験(後日)の記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・振り返りシート ・問題集 ・デイリー課題などの記述を確認

4 (2)	<p>○ 2つの円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用される用語や定理をノートやプリントに整理し理解する。 ・2つの円の位置関係を利用して、図形の線分の長さを求める。 ・確認テストに取り組む。 ・デイリー課題に取り組む（2週間に1回） 	○	○	○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プリントやデイリー課題の記述の確認 ・確認テスト、定期試験（後日）の記述の確認 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確認テスト、定期試験（後日）の記述の確認
後日	<ul style="list-style-type: none"> ・ラウンドノートに取り組む ・定期試験に取り組む 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ラウンドノート ・定期試験

単元(題材)の指導と評価の計画 教科名：

理科

科目名：

化学基礎

①単元(題材)名：

化学と人間生活

②単元(題材)の目標：

(1)	知識・技能 (技術)	人間生活で関わる物質や化学について、化学の特徴、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付ける。
(2)	思考・判断・表現	化学や物質について、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現する。
(3)	主体的に学習に取り組む態度	化学や物質に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする。

③単元(題材)の評価規準

知識・技能(技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
人間生活で関わる物質や化学について、化学の特徴、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	化学や物質について、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現している。	化学や物質に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

④単元(題材)の指導と評価の計画

(2)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・目標の確認。 ・人間生活の中の化学についての基本事項を学び、課題に取り組む。 ・確認テストを行う。 		○	○	【思考・判断・表現】 小テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題の取り組み状況
2 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・目標の確認。 ・化学とその役割についての基本事項を学び、課題に取り組む。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 	○			【知識・技能】 課題提出

単元(題材)の指導と評価の計画 教科名：

理科

科目名：

化学基礎

①単元(題材)名：

物質の成分と構成元素

②単元(題材)の目標：

(1)	知識・技能 (技術)	物質を構成している粒子について、原子の構造、電子配置と周期表の基本的な概念や原理・法則などを理解する。
(2)	思考・判断・表現	物質の構成粒子について、規則性や関係性を見いだして思考し、表現する。
(3)	主体的に学習に取り組む態度	物質を構成する粒子に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする。

③単元(題材)の評価規準

知識・技能(技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
物質を構成している粒子について、原子の構造、電子配置と周期表の基本的な概念や原理・法則などを理解している。	物質の構成粒子について、規則性や関係性を見いだして思考し、表現している。	物質を構成する粒子に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

④単元(題材)の指導と評価の計画

(4)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・目標の確認。 ・物質の成分についての基本事項を学ぶ。 ・基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・小テスト 	○		○	【知識・技能】 小テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題の確認
2 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・目標の確認。 ・物質の構成元素についての基本事項を学ぶ。 ・基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。 	○	○		【知識・技能】 小テスト 【思考・判断・表現】 課題提出
3 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・目標の確認。 ・状態変化と熱運動についての基本事項を学ぶ。 ・基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。 	○		○	【知識・技能】 小テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出

単元(題材)の指導と評価の計画 教科名：

理科

科目名：

化学基礎

①単元(題材)名：

原子の構造と元素の周期表

②単元(題材)の目標：

(1)	知識・技能 (技術)	物質を構成している粒子について、原子の構造、電子配置と周期表の基本的な概念や原理・法則などを理解する。
(2)	思考・判断・表現	物質の構成粒子について、規則性や関係性を見いだして思考し、表現する。
(3)	主体的に学習に取り組む態度	物質を構成する粒子に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする。

③単元(題材)の評価規準

知識・技能(技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
物質を構成している粒子について、原子の構造、電子配置と周期表の基本的な概念や原理・法則などを理解している。	物質の構成粒子について、規則性や関係性を見いだして思考し、表現している。	物質を構成する粒子に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

④単元(題材)の指導と評価の計画

(5)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・目標の確認。 ・原子の構造についての基本事項を学ぶ。 ・基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 		○	○	【思考・判断・表現】 提出課題の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題の確認
2 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・目標の確認。 ・元素の相互関係についての基本事項を学ぶ。 ・基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。 	○			【知識・技能】 小テスト

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

化学基礎

1 単元名：

物質と化学結合

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
物質と化学結合について、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物質と化学結合について、観察や実験などを通して探究し、物質と化学結合における規則性や関係性を見いだして表現している。	物質の化学結合に主体的に関わり、物体や結晶に対する見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(19)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	○イオン ・イオンについての基本事項を学ぶ。 ・基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。	○		○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・ワークシートの記述内容の確認 【知識・技能】 ・小テスト
2 (2)	○イオン結合と組成式 ・静電気力(クーロン力)について説明し、結び付くことを理解する。	○		○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・ワークシートの記述内容の確認 【知識・技能】 ・ワークシート等の記述内容の確認
3 (3)	○組成式の表し方 ・イオンの価数や組成式のつくり方を理解し、イオン結合からなる物質を組成式で表すことができる。	○	○		【思考・判断・表現】 ・ワークシート、配信課題等の記述内容の確認 【知識・技能】 ・小テスト
4 (1)	○イオン結晶とその性質 ・結晶の性質を一つ一つ確認し、ほかの物質との違いを理解する。	○		○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・ワークシートの記述内容の確認 【知識・技能】 ・ワークシート等の記述内容の確認
5 (2)	○共有結合の形成 ・価電子を共有することで、貴ガスの電子配置と似た、安定した形状になること理解する。	○		○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・ワークシートの記述内容の確認 【知識・技能】 ・ワークシート等の記述内容の確認

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

化学基礎

1 単元名：

物質と化学反応式

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
物質と化学反応式について、物質、化学反応式の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物質と化学反応式について、計算などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現している。	物質と化学反応式の学習に対して主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(12)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	○原子量・分子量と式量 ・原子の相対質量の値を利用し、分子量や式量を求める。		○	○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・ワークシート等の記述内容の確認 【思考・判断・表現】 ・配信課題
2 (2)	○物質 ・物質の単位である「mol」を使い、個数や質量、体積を変換する。		○	○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・ワークシート等の記述内容の確認 ・小テスト 【思考・判断・表現】 ・配信課題
3 (3)	○溶液の濃度 ・物質と体積を計算し、溶液の濃度を理解する。	○	○		【知識・技能】 ・ワークシート等の記述内容の確認 ・小テスト 【思考・判断・表現】 ・配信課題
4 (2)	○化学変化と化学反応式 ・適切な係数を付け、化学変化を正しい化学反応式で表す。	○	○		【知識・技能】 ・ワークシートの記述内容の確認 【思考・判断・表現】 ・小テスト
5 (3)	○化学反応の量的関係 ・化学反応式の係数を利用して、物質を算出する。	○	○		【知識・技能】 ・ワークシート等の記述内容の確認 【思考・判断・表現】 ・小テスト
6 (1)	○化学変化における諸法則 ・質量保存の法則や定比例の法則などを理解する。	○	○		【知識・技能】 ・小テスト 【思考・判断・表現】 ・ワークシート等の記述内容の確認

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

化学基礎

1 単元名：

酸と塩基の反応

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
酸と塩基について、酸性や塩基性といった性質や、酸と塩基の定義などを理解しているとともに、実験などに関する基本操作や結果から得られる考察などの技能を身に付けている。	酸と塩基について、実験などを通して探究し、物質の変化における酸と塩基の役割や反応時の関係性を見いだして表現している。	酸・塩基と化学反応式の学習に対して主体的に関わり、関連性を見出したり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(12) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	○酸と塩基 ・酸と塩基の定義を理解し、物質を分類する。	○		○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・ワークシート等の記述内容の確認 【知識・技能】 ・配信課題
2 (4)	○水素イオン濃度 ・水素イオン濃度を計算し、溶液のpHを求めることができる。	○	○		【知識・技能】 ・ワークシート等の記述内容の確認 【思考・判断・表現】 ・小テスト
3 (3)	○中和と塩 ・溶液の濃度から、酸と塩基を中和する。	○		○	【知識・技能】 ・ワークシートの記述 【主体的に学習に取り組む態度】 ・小テスト
4 (2)	○中和滴定 ・中和滴定の実験を通して、溶液の中和を理解する。	○		○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・ワークシートの記述内容の確認 【知識・技能】 ・配信課題

指導と評価の計画

教科名：

保健体育

科目名：

体育

1. 単元名：

ダンス

2. 単元の目標と評価規準

知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○知識</p> <p>①自己の動きや仲間の動き方を分析するには、自己観察や他者観察などの方法があることについて言ったり書きだしたりしている。</p>	<p>○技能</p> <p>①はじめとおわりを付け、ひとまとまりの作品にまとめることができる。</p> <p>②緩急強弱のある動きや空間の使い方や場面の転換などで、変化を付けたひと流れの動きにすることができる。</p>	<p>①それぞれのダンスに応じて、表したいテーマにふさわしいイメージや、踊りの特徴を捉えた表現の仕方を見つけている。</p> <p>②選択した踊りの特徴に合わせて、よい動きや表現と自己や仲間の動きや表現を比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。</p>	<p>①ダンスの学習に自主的に取り組もうとしている。</p> <p>②一人ひとりの違いに応じた表現や交流、発表の仕方などを大切にしようとしている。</p>

3. 単元の指導と評価の計画

(10)時間扱い

○「記録に残す評価」

時間		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10				
学習の流れ (学習過程)	0	出席確認、健康観察、本時の説明													
	10	テー オリ シ ョ ン	ウォーミングアップ・柔軟			群の動 き	グルー プ練 習	グルー プ練 習	発 表	振 り返 り会					
	20		一流れの動き												
	30	対 極 の 動 き	グルーブ練習				中 間 発 表								
	40														
	50														
	60	本時の振り返り、次回の連絡													
指導・評価	観点	1	2	3	4	5	6						7	8	9
	知・技	知			①○						①●				
		技		①○		②○		①●	②●						
	思・判・表		①○	②○		①●	②●								
主体的態度	①○		①●	②○					①●		②●				

指導と評価の計画

教科名： 保健体育 科目名： 体育

1. 単元名： ネット型：卓球

2. 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○知識</p> <p>①球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて具体例を挙げている。</p> <p>②戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて具体例を挙げている。</p>	<p>○技能</p> <p>①ボールを相手側のコートに空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。</p>	<p>①ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面で、よりよいマナーや行為について、自己の活動を振り返っている。</p>

3. 単元（題材）の指導と評価の計画 (10)時間扱い ○ 「記録に残す評価」

時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
学習の流れ (学習過程)	0	本時の説明、本時の目標、準備運動										
	10	オリエンテーション	ラリー(反復練習)							ダブルスグループ		
	20		フォア	バック	サーブ	回転のかけ方	技能	知識				
	30											
	40		ゲーム(シングルス)							ゲーム(ダブルス)		
	50											
60	本時の振り返り、次回の連絡											
指導・評価	観点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	知・技	知	①○			②○			①●		②●	
		技		①○	①○			①●				
	思・判・表					①○			①●		①●	
主体的態度			①○					①●				

指導と評価の計画

教科名：

保健体育

科目名：

体育

1. 単元名：

ベースボール型：ソフトボール

2. 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○知識</p> <p>①球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身につけるためのポイントがあることについて具体例をあげている。</p> <p>②戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて具体例をあげている。</p>	<p>○技能</p> <p>①体の軸を安定させてバットを振り抜くことができる。</p> <p>②タイミングを合わせてボールを捉えることができる。</p> <p>③捕球場所へ最短距離で移動して、相手の打ったボールを取ることができる。</p> <p>④狙った方向へステップを踏みながら、一連の動きでボールを投げるができる。</p>	<p>①合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。</p> <p>②作戦などの話合いの場面で、合意形成するための関わり方を見つけ、仲間に伝えている。</p>
		<p>①互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合おうとしている。</p> <p>②健康・安全を確保しようとしている。</p>

3. 単元の指導と評価の計画

(10) 時間扱い

○「記録に残す評価」

時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10					
学習の流れ (学習過程)	0	本時の説明・グループごとの準備運動・補強運動など								まとめのゲーム	まとめのゲーム				
	10	オリエンテーション	<学びなおし>				課題発見、課題解決	技能テスト ゴロの捕球・送球	まとめのゲーム						
	20		キャッチボール、ゴロ、フライ、ピッチング	バッティングとゴロの捕球・送球											
	30		ミニゲーム① フォースプレーゲーム		ミニゲーム② タッチアウトゲーム										
	40		健康観察・整理運動・本時の振り返り・次時の目標												
	50														
60									9	10					
指導・評価	知・技	①○					①●								
	思・判・表		①○	②○	③④○			①②●	③④●						
	主体的態度	①○				②○	①●			②●					

指導と評価の計画

教科名：

保健体育

科目名：

体育

1. 単元名：

体づくり運動

2. 単元の目標と評価規準

知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む
<p>○知識</p> <p>①定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる意義があることを言ったり書き出したりしている。</p>	<p>○技能</p> <p>①のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりしている。</p>	<p>①ねらいや体力の程度を踏まえ、自己や仲間の課題に応じた強度、時間、回数、頻度を設定している。</p> <p>②課題を解決するために仲間と話し合う場面で、合意形成するための関わり方を見付け、仲間に伝えている。</p>	<p>①一人ひとりの違いに応じた動きなどを大切にしている。</p> <p>②自己や仲間の課題解決に向けた話合いに貢献している。</p>

3. 単元の指導と評価の計画

(3)

時間扱い

○「記録に残す評価」

時間		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
学習の流れ (学習過程)	0	オリエンテーション	本時の説明									
	10		リズム運動	グループで計画・実行								
	20											
	30	・補強運動 ・講義										
	40											
50	本時の振り返り、次回の											
指導・評価	観点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	知・技	知	①○									
		技		①●								
	思・判・表		①○	②●								
主体的態度	①○		②●									

指導と評価の計画

教科名： 保健体育

科目名： 体育

1. 単元名： 体育理論

2. 単元の目標と評価規準

知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○知識</p> <p>①スポーツは、人類の歴史とともに世界各地で日常の遊びや生活などから生まれてきたこと、近代になって、スポーツは娯楽から競技に変化し、一般の人びとに広がっていったことについて具体例を挙げている。</p>	<p>○技能</p> <p>①ゴールの枠内にシュートをコントロールすることができる。</p> <p>②味方が操作しやすいパスを送ることができる。</p>	<p>①スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について、事実各科目の目標及び内容や理念を整理したり、自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を伝えている。</p>	<p>①スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、自主的に取り組もうとしている。</p>

3. 単元（題材）の指導と評価の計画 (6)時間扱い ○「記録に残す評価」

時間		1	2	3	4	5	6	
学習の流れ (学習過程)	0	オリエンテーション	出席確認、健康観察、本時の説明					
	10		調べ学習					
	20		グループワーク					
	30		発表					
	40		振り返り、次回の目標					
指導・評価	観点	1	2	3	4	5	6	
	知・技	知	①○					①●
		技			①○	②○	①●	②●
	思・判・表		①○			①●		
主体的態度	①○			①●				

指導と評価の計画

教科名：

保健体育

科目名：

保健

1. 単元名：

精神疾患

2. 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
精神疾患は精神機能の基盤となる心理的・生物的・または社会的な機能の障害などが原因となり、認知・情動・行動などの不調により精神活動が不全になった状態であることについて理解したことを言ったり書きだしたりしている。	精神疾患の予防と回復について、習得した知識をもとに心身の健康を保ち、不調に早く気が付くために必要な個人の取り組みや社会的な対策を整理しているとともに、自他の社会の課題を発見している。	精神疾患への対処について課題の解決に向けての学習に主体的に取り組もうとしている。

3. 単元の指導と評価の計画

(3)時間扱い ○ 「記録に残す評価」

時間		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
学習の流れ (学習過程)	0	出席確認、前回の復習									
	10	精神疾患の特徴	聖疾患の予防	精神疾患からの回復							
	20										
	30	ワーク									
	40	ワーク									
50	まとめ、次回の確認										
指導・評価	観点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	知・技	知		○							
		技									
	思・判・表	○	○								
主体的態度	○		○								

1. 題材名：

三線にチャレンジ
A表現(2) 器楽 B鑑賞(1) 鑑賞 [共通事項](1)

2. 題材の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>三線や沖縄音楽に関する知識を身に付け、文化や歴史的背景との関わりを理解している。 【知識・器楽イ(ア)】</p> <p>「工工四」の読み方を理解し、三線の演奏に必要な運指や爪の使い方、楽器の構え方などの基礎的な技能を身に付け、特徴を活かして演奏している。 【技能・器楽ウ(ア)】</p>	<p>三線や沖縄音楽の特徴を捉えて三線の演奏を鑑賞し、楽器や曲の特徴を生かした表現ができるよう、個人で試行錯誤したり、他者と意見を交換しながら演奏の学習活動に取り組んでいる。</p>	<p>三線の音色や沖縄音楽の特徴に興味を持ち、主体的・協働的に三線の演奏及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

3. 題材の指導と評価の計画

(10)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1(1)	単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。			○	【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りノート
	三線と沖縄音楽の歴史、楽器の特徴、各部の名称を知り、三線の演奏を鑑賞する。		○		【思考・判断・表現】 ワークシート
2(3)	楽器の扱い方、構え方、工工四の読み方について知る。	○ 知			【知識・技能】 ワークシート
	左手の弦の押さえ方や右手の爪の動かし方について学習し、練習しながら工工四の読譜に慣れる。	○ 技			【知識・技能】 活動観察
3(5)	「海の声」の練習に取り組む。個人練習をし、ペアでアドバイスをし合う。		○		【思考・判断・表現】 活動観察
				○	【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りノート
	学習した用語、記号についての確認テストを受ける。	○ 知			【知識・技能】 確認テスト
4(1)	実技試験を受け、今まで学んだ知識や奏法などを演奏に活かすことができているか確認する。			○	【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りノート
		○ 技			【知識・技能】 実技試験

1. 題材名：

ハーモニーを感じて歌おう
A表現(1)歌唱 B鑑賞(1)鑑賞 [共通事項](1)

2. 題材の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>曲想と音楽の構造や歌詞との関わり、言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 【知識・歌唱イ(イ)】</p> <p>創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方、ハーモニーを意識して歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 【技能・歌唱ウ(ウ)】</p>	<p>音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。</p>	<p>各声部の役割やテクスチャの変化を考えて合唱表現を創意工夫することに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

3. 題材の指導と評価の計画

(11)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1(1)	単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。			○	【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りノート
	歌唱に必要な用語、記号について学習する。	○知			【知識・技能】 ワークシート
2(3)	「翼をください」「少年時代」の下パートの音取りをする。			○	【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りノート
	「翼をください」「少年時代」について、上下パートに分かれて歌唱する。	○技			【知識・技能】 活動観察
3(4)	「未来へ」の上下パートの音取りをする。			○	【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りノート
	学習した用語、記号について確認する。	○知			【知識・技能】 確認テスト
	「未来へ」について、上下パートに分かれて歌唱する。	○技			【知識・技能】 活動観察
4(2)	「未来へ」の歌詞の内容について考察し、それをどのように表現するか意識する。		○		【思考・判断・表現】 ワークシート
5(1)	実技試験を受け、今まで学んだ知識や技能を生かして歌唱することができているか確認する。			○	【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りノート
		○技			【知識・技能】 実技試験

1. 題材名：

オーケストラを聴こう
B鑑賞 (1) 鑑賞 [共通事項] (1)

2. 題材の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知識：曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解を深めている。 【知識・鑑賞イ (ア)】	オーケストラの楽器のそれぞれの音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽のよさや美しさを深く味わってオーケストラの楽曲を鑑賞している。	オーケストラの楽器や、作曲家の生きた時代とその歴史背景を理解することに関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

3. 題材の指導と評価の計画

(3)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1(1)	単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。			○	【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りノート
	鑑賞に必要な用語、記号について学習する。	○知			【知識・技能】 ワークシート
2(1)	オーケストラの楽器について知る。	○知			【知識・技能】 ワークシート
	それぞれの楽器の特徴についてワークシートにまとめ、グループで意見を交換する。		○		【思考・判断・表現】 ワークシート
3(1)	「動物の謝肉祭」を鑑賞する。			○	【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りノート
	楽曲の特徴についてワークシートにまとめ、グループで意見や感想を交換する。		○		【思考・判断・表現】 ワークシート

指導と評価の計画

教科名：

芸術

科目名：

美術 I

1. 題材名：

画像編集（映像メディア表現）

2. 題材の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>知 画像編集ソフトを効果的に使用し、創意工夫をして表現している。</p> <p>技 アクリル絵の具の特性を生かしデジタル原画を表現している。</p>	<p>発 いろいろな色彩や色光のパターンを試しながら、創造的な表現の構想を練っている。</p>	<p>態表 映像メディア表現に関心をもち、意欲的に端末を用いて制作に取り組んでいる。</p> <p>態鑑 デジタルでの明度、彩度、色相の表現の仕方に関心をもち、よさや美しさを味わおうとしている。</p>

3. 題材の指導と評価の計画

(10) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<p>【発想や構想】</p> <ul style="list-style-type: none"> 参考作品を鑑賞し、制作の流れを理解する。 画像編集ソフトの使い方の説明を聞き、操作の練習をする。 	○知			<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 作品
2 (2)	<p>【制作①】</p> <ul style="list-style-type: none"> 画像編集ソフトを使用し、自分の選んだ画像の編集をする。 印刷をした画像をもとに、作品の下絵をつくる。 		○発	○態表	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 作品 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動の様子
3 (6)	<p>【制作②】</p> <ul style="list-style-type: none"> アクリル絵の具を使用して着彩をする。 	○技		↓	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 作品
4 (1)	<p>【鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> 完成した作品を相互鑑賞する。意見を交換しあい、感じたことや自分の考えをワークシートに記入する。 			○態鑑	<p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動の様子

1. 題材名：

空想の生き物（塑像）

2. 題材の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>知 先人たちの作った作品を鑑賞し、造形的な見方や感じ方を深めている。</p> <p>技 粘土の使い方、心棒の組み方を理解し表現している。</p>	<p>発 ものの組み合わせからイメージを膨らませて、色や形の表現を考えている。</p>	<p>態表 立体造形に関心を持ち、意欲的に制作に取り組んでいる。</p> <p>態鑑 立体造形に関心を持ち、意欲的に鑑賞に取り組んでいる。</p>

(14) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<p>【鑑賞①】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空想画を鑑賞し、感じたことを発表する。 ・作品のテーマと説明を聞き、制作の見通しをもつ。 	○知		○態鑑	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子
2 (2)	<p>【発想や構想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート、スライドで空想の生き物を鑑賞し自分なりのアイデアを考える。 ・アイデアをワークシートにまとめ、立体作品の構想を練る。 		○発	○態表	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子
3 (10)	<p>【制作】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートをもとに、針金、新聞紙、麻紐を利用して心棒をつくる。 ・乾燥に注意しながら石粉粘土で肉付けをする。 ・粘土が完成したらアクリル絵の具で着色をする。 ・絵の具が乾いたら水性ニスを塗り仕上げる。 	○技		○態表	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子
4 (1)	<p>【鑑賞②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の制作を振り返り、制作ノートに記入をする。 ・完成した作品を相互鑑賞する。 			○態鑑	<p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・活動の様子

指導と評価の計画

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーション I	単位数	3
単元①【Lesson 3 Routes to the Top】					
	内容のまとめりごとの評価規準			主な 評価 方法	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度		
・読むこと 聞くこと	<p>【知識】 動名詞や不定詞を用いた文の構造について理解している。</p> <p>【技能】 スポーツクライマーである野口選手のインタビューについて、概要や要点を聞き(読み)取ることができる。</p>	<p>スポーツクライマーである野口選手のインタビューを聞いたり、読んだりして、自分のキャリアと関連付けて考えることができる。</p>	<p>スポーツクライマーである野口選手のインタビューについて、興味・関心を持ち、聞く(読む)様子が窺える。</p>	<p>ペーパーテスト</p> <p>ワークシート</p>	
こと話す	<p>【知識】</p> <p>【技能】</p>				
(発表) 話すこと	<p>【知識】 効果的な発表方法について理解している。</p> <p>【技能】 好きなスポーツ選手について発表することができる。</p>	<p>好きなスポーツ選手について調べた情報を適切に整理して、聞き手が理解できるように発表することができる。</p>	<p>好きなスポーツ選手について、事前に準備したスライドと原稿を用いて発表することができる。</p>	<p>ワークシート</p> <p>スライド</p>	
書くこと	<p>【知識】 動名詞や不定詞の用法について理解している。</p> <p>【技能】 動名詞や不定詞を適切に使用することができる。</p>	<p>動名詞や不定詞を目的や場面に応じて使用することができる。</p>	<p>動名詞や不定詞を用いた英文を読み手が理解できるように書いている。</p>	<p>ペーパーテスト</p>	

指導と評価の計画

記録に残す評価 (○)

時間	主な学習活動	知	思	主
1 ～ 6	<ul style="list-style-type: none"> ● スポーツライターである野口選手のインタビューについて理解するために英文を聞いたり、読んだりする。 ● 好きなスポーツ選手について発表する。 ● 動名詞や不定詞の用法について学習する。 		○	○
後日	<ul style="list-style-type: none"> ● 定期試験 	○		

指導と評価の計画

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーション I	単位数	3
単元②【Lesson 4 Left to Right, Right?】					
	内容のまとめりごとの評価規準			主な 評価 方法	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度		
・読むこと 聞くこと	<p>【知識】比較級・最上級を用いた文の構造について理解している。</p> <p>【技能】日本のマンガの形式とその翻訳について、概要や要点を聞き(読み)取ることができる。</p>	日本のマンガの形式とその翻訳に関する英文を聞いたり、読んだりして日本と外国との違いについて考えることができる。	日本のマンガの形式とその翻訳について、興味・関心を持ち、聞く(読む)様子が窺える。	ペーパーテスト ワークシート	
(やり取り) 話すこと	<p>【知識】比較級・最上級の用法について理解している。</p> <p>【技能】比較表現を用いて身近な話題について話し合うことができる。</p>	比較表現を用いた英文を場面や状況に応じて考え、伝えることができる。	比較級・最上級を用いた身近な話題について、ペアやグループで積極的にやり取りしている。	活動の観察	
(発表) 話すこと	<p>【知識】日本の文化の魅力や特色について理解している。</p> <p>【技能】日本の文化について発表することができる。</p>	日本の文化の魅力や特色について調べた内容を適切に整理して、聞き手が理解できるように発表することができる。	日本の文化について、事前に準備したスライドと原稿を用いて発表することができる。	パフォーマンステスト	
書くこと	<p>【知識】比較級・最上級の用法について理解している。</p> <p>【技能】比較級・最上級を適切に使用することができる。</p>	比較級・最上級を目的や場面に応じて使用することができる。	比較級・最上級を用いた英文を読み手が理解できるように書いている。	ペーパーテスト	

指導と評価の計画

記録に残す評価 (○)

時間	主な学習活動	知	思	主
7 ～ 2 2	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本のマンガの形式とその翻訳について理解するために英文を聞いたり、読んだりする。 ● 日本の文化について発表する。 ● 比較級・最上級の用法について学習する。 ● ポートフォリオ（学習の記録）を作成する。 		○	○
後日	<ul style="list-style-type: none"> ● 定期試験 	○		

指導と評価の計画

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーション I	単位数	3
単元③【Lesson 5 Banana Paper】					
	内容のまとめりごとの評価規準			主な 評価 方法	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度		
・読むこと 聞くこと	<p>【知識】 関係代名詞を用いた文の構造について理解している。</p> <p>【技能】 バナナペーパープロジェクトによる村の人々の暮らしの変化について、概要や要点を聞き（読み）取ることができる。</p>	<p>バナナペーパープロジェクトに関する英文を聞いたり、読んだりして、環境に配慮した取り組みについて考えることができる。</p>	<p>バナナペーパープロジェクトによる村の人々の暮らしの変化について、興味・関心を持ち、聞く（読む）様子が窺える。</p>	<p>ペーパーテスト</p> <p>ワークシート</p>	
(やり取り) 話すこと	<p>【知識】 バナナペーパープロジェクトの概要について理解している。</p> <p>【技能】 バナナペーパープロジェクトについて話し合うことができる。</p>	<p>環境に配慮した取り組みについて、自分の意見を適切に伝えることができる。</p>	<p>環境に配慮した取り組みについて、ペアやグループで積極的に意見交換している。</p>	<p>活動の観察</p>	
(発表) 話すこと	<p>【知識】</p> <p>【技能】</p>				
書くこと	<p>【知識】 関係代名詞の用法について理解している。</p> <p>【技能】 関係代名詞を適切に使用することができる。</p>	<p>関係代名詞を目的や場面に応じて使用することができる。</p>	<p>関係代名詞を用いた英文を読み手が理解できるように書いている。</p>	<p>ペーパーテスト</p>	

指導と評価の計画

記録に残す評価 (○)

時間	主な学習活動	知	思	主
2 2 3 6	<ul style="list-style-type: none"> ● バナナペーパープロジェクトによる村の人々の暮らしの変化について理解するために英文を聞いたり、読んだりする。 ● 関係代名詞の用法について学習する。 ● ポートフォリオ（学習の記録）を作成する。 		○	○
後日	<ul style="list-style-type: none"> ● 定期試験 	○		

指導と評価の計画

教科	外国語科	科目	論理表現 I	単位数	2
単元①【Lesson 8・9 助動詞 (I・II)】					
	内容のまとめりごとの評価規準				主な 評価 方法
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度		
・読むこと 聞くこと	[知識] 文章を聞き取ったり読み取ったりするために必要となる語彙や表現を理解している。	自分の判断や気持ちを伝えるために、助動詞を使った表現を話されたり書かれたりした説明文を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えている。	自分の判断や気持ちを伝えるために、助動詞を使った表現を話されたり書かれたりした説明文を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えようとしている。		ペーパー テスト 振り返り の記述 活動の観 察
	[技能] 助動詞を使って話されたり、書かれたりした説明文を聞き取ったり、読み取ったりする技能を身に付けている。				
(やり取り) 話すこと	[知識] 助動詞の特徴やきまりに関する事項を理解している。	話し手の判断や気持ちについて、助動詞を用いて、自分の考え、気持ちを即興で伝え合っている。	話し手の判断や気持ちについて、助動詞を用いて、自分の考え、気持ちを即興で伝え合おうとしている。		パフォー マンステ スト 振り返り の記述 活動の観 察
	[技能] 話し手の判断や気持ちを説明する表現などを用いて、事実や自分の考え、気持ちを即興で伝え合う技能を身に付けている。				
(発表) 話すこと	[知識] 助動詞の特徴やきまりに関する事項を理解している。	話し手の判断や気持ちについて、助動詞を用いて説明している。	話し手の判断や気持ちについて、助動詞を用いて説明しようとしている。		パフォー マンステ スト 振り返り の記述 活動の観 察
	[技能] 話し手の判断や気持ちについて、助動詞を用いて説明している。				
書くこと	[知識] 助動詞の特徴やきまりに関する事項を理解している。	話し手の判断や気持ちについて、助動詞を用いて、事実や自分の考え、気持ちを整理し、正確に書いている。	話し手の判断や気持ちについて、助動詞を用いて、事実や自分の考え、気持ちを整理し、正確に書こうとしている。		ペーパー テスト 振り返り の記述 活動の観 察
	[技能] 話し手の判断や気持ちについて、助動詞を用いて、正確に書く技能を身に付けている。				

記録に残す評価 (○)

指導と評価の計画

時間	主な学習活動	知	思	主
1 ～ 4	<ul style="list-style-type: none"> ● 話し手の判断や気持ちを伝えるために、助動詞を使った表現を話されたり書かれたりした説明文を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えたりする。 ● 話し手の判断や気持ちについて、助動詞を用いて、事実や自分の考え、気持ちを即興で伝え合う。 ● 助動詞の特徴やきまりに関する事項を理解したうえで、助動詞を用いて写真の内容を説明する。 ● 例文テスト 	○	○	○
5 ～ 6	<ul style="list-style-type: none"> ● パフォーマンステスト【話すこと[やり取り]】 写真について、助動詞を用いて即興で説明している。 	○	○	○
後日	<ul style="list-style-type: none"> ● ペーパーテスト 初めて聞いたり読んだりする英文からも出題されます。 ● 日頃の取り組みについての提出物 	○	○	

活動状況を見取り、学習や指導に生かすための評価は毎時間行います。

指導と評価の計画

教科	外国語科	科目	論理表現 I	単位数	2
単元②【Lesson 10 文の型 (I・II)】					
	内容のまとめりごとの評価規準				主な 評価 方法
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度		
・読むこと 聞くこと	[知識] 文章を聞き取ったり読み取ったりするために必要となる語彙や表現を理解している。	英語特有の文型を用いる場面を理解したうえで、話されたり書かれたりした説明文を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えている。	英語特有の文型を用いる場面を理解したうえで、話されたり書かれたりした説明文を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えようとしている。		ペーパー テスト 振り返り の記述 活動の観 察
	[技能] 英語特有の文型を用いて話されたり、書かれたりした説明文を聞き取ったり、読み取ったりする技能を身に付けている。				
(やり取り) 話すこと	[知識] 英語特有の文型の特徴やきまりに関する事項を理解している。	絵について英語特有の文型を用いて、自分の考え、気持ちを即興で伝え合っている。	絵について英語特有の文型を用いて、自分の考え、気持ちを即興で伝え合おうとしている。		パフォー マンステ スト 振り返り の記述 活動の観 察
	[技能] 絵について英語特有の文型を用いて即興で伝え合う技能を身に付けている。				
(発表) 話すこと	[知識] 英語特有の文型のきまりに関する事項を理解している。	写真について、英語特有の文型を用いて説明している。	写真について、英語特有の文型を用いて説明しようとしている。		パフォー マンステ スト 振り返り の記述 活動の観 察
	[技能] 写真について、英語特有の文型を用いて説明している。				
書くこと	[知識] 英語特有の文型の特徴やきまりに関する事項を理解している。	第1～5文型を用いて、その時の状態を正確に書いている。	第1～5文型を用いて、その時の状態を正確に書こうとしている。		ペーパー テスト 振り返り の記述 活動の観 察
	[技能] 第1～5文型を用いて、正確に書く技能を身に付けている。				

記録に残す評価 (○)

指導と評価の計画

時間	主な学習活動	知	思	主
1 ～ 4	<ul style="list-style-type: none"> ● 英語特有の文型の特徴やきまりに関する事項を理解する。 ● 英語特有の文型を用いる場面を理解したうえで、話されたり書かれたりした説明文を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉える。 ● 絵について第1～5文型を用いて、自分の考え、気持ちを即興で伝え合う。 ● 英語特有の文型の特徴やきまりを理解したうえで、写真の内容について即興で相手に伝える。 ● 例文テスト 	○	○	○
5 ～ 6	<ul style="list-style-type: none"> ● パフォーマンステスト【話すこと[やり取り]】 写真について、第1～5文型を用いて説明する。 	○	○	○
後日	<ul style="list-style-type: none"> ● ペーパーテスト 初めて聞いたり読んだりする英文からも出題されます。 ● 日頃の取り組みについての提出物 	○	○	

活動状況を見取り、学習や指導に生かすための評価は毎時間行います。

指導と評価の計画

教科	外国語科	科目	論理表現 I	単位数	2
単元③【Lesson 11 受動態 (I・II)】					
	内容のまとめりごとの評価規準				主な 評価 方法
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度		
・読むこと 聞くこと	[知識] 文章を聞き取ったり読み取ったりするために必要となる語彙や表現を理解している。	受動態を用いる場面を理解したうえで、話されたり書かれたりした説明文を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えている。	受動態を用いる場面を理解したうえで、話されたり書かれたりした説明文を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えようとしている。		ペーパー テスト 振り返り の記述 活動の観 察
	[技能] 受動態を用いて話されたり、書かれたりした説明文を聞き取ったり、読み取ったりする技能を身に付けている。				
(やり取り) 話すこと	[知識] 受動態の特徴やきまりに関する事項を理解している。	絵について受動態を用いて、自分の考え、気持ちを即興で伝え合っている。	絵について受動態を用いて、自分の考え、気持ちを即興で伝え合おうとしている。		パフォー マンステ スト 振り返り の記述 活動の観 察
	[技能] 絵について受動態を用いて即興で伝え合う技能を身に付けている。				
(発表) 話すこと	[知識] 受動態のきまりに関する事項を理解している。	写真について、受動態を用いて説明している。	写真について、受動態を用いて説明しようとしている。		パフォー マンステ スト 振り返り の記述 活動の観 察
	[技能] 写真について、受動態を用いて説明している。				
書くこと	[知識] 受動態の特徴やきまりに関する事項を理解している。	受動態を用いて、その時の状態を正確に書いている。	受動態を用いて、その時の状態を正確に書こうとしている。		ペーパー テスト 振り返り の記述 活動の観 察
	[技能] 受動態を用いて、正確に書く技能を身に付けている。				

記録に残す評価 (○)

指導と評価の計画

時間	主な学習活動	知	思	主
1 ～ 4	<ul style="list-style-type: none"> ● 受動態の特徴やきまりに関する事項を理解する。 ● 受動態を用いる場面を理解したうえで、話されたり書かれたりした説明文を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉える。 ● 絵について受動態を用いて、事実や自分の考えを即興で伝え合う。 ● 受動態の特徴やきまりを理解したうえで、写真の内容について即興で相手に伝える。 ● 例文テスト 	○	○	○
5 ～ 6	<ul style="list-style-type: none"> ● パフォーマンステスト【話すこと[やり取り]】 写真について、受動態を用いて説明する。 	○	○	○
後日	<ul style="list-style-type: none"> ● ペーパーテスト 初めて聞いたり読んだりする英文からも出題されます。 ● 日頃の取り組みについての提出物 	○	○	

活動状況を見取り、学習や指導に生かすための評価は毎時間行います。

指導と評価の計画

教科	外国語科	科目	論理表現 I	単位数	2
単元④【Lesson 12 不定詞 (I・II)】					
	内容のまとめりごとの評価規準			主な 評価 方法	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度		
・読むこと 聞くこと	[知識] 文章を聞き取ったり読み取ったりするために必要となる語彙や表現を理解している。	不定詞の働き方を理解したうえで、話されたり書かれたりした説明文を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えている。	不定詞の働き方を理解したうえで、話されたり書かれたりした説明文を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えようとしている。	ペーパー テスト 振り返り の記述 活動の観 察	
	[技能] 不定詞を用いて話されたり、書かれたりした説明文を聞き取ったり、読み取ったりする技能を身に付けている。				
(やり取り) 話すこと	[知識] 不定詞の特徴やきまりに関する事項を理解している。	絵について不定詞を用いて、自分の考え、気持ちを即興で伝え合っている。	絵について不定詞を用いて、自分の考え、気持ちを即興で伝え合おうとしている。	パフォー マンステ スト 振り返り の記述 活動の観 察	
	[技能] 絵について不定詞を用いて即興で伝え合う技能を身に付けている。				
(発表) 話すこと	[知識] 不定詞のきまりに関する事項を理解している。	写真について、不定詞を用いて説明している。	写真について、不定詞を用いて説明しようとしている。	パフォー マンステ スト 振り返り の記述 活動の観 察	
	[技能] 写真について、不定詞を用いて説明している。				
書くこと	[知識] 不定詞の特徴やきまりに関する事項を理解している。	不定詞を用いて、その時の状態を正確に書いている。	不定詞を用いて、その時の状態を正確に書こうとしている。	振り返り の記述 活動の観 察	
	[技能] 不定詞を用いて、正確に書く技能を身に付けている。				

記録に残す評価 (○)

指導と評価の計画

時間	主な学習活動	知	思	主
1 ～ 4	<ul style="list-style-type: none"> ● 不定詞の特徴やきまりに関する事項を理解する。 ● 不定詞の働き方を理解したうえで、話されたり書かれたりした説明文を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉える。 ● 絵について不定詞を用いて、事実や自分の考えを即興で伝え合う。 ● 不定詞の特徴やきまりを理解したうえで、写真の内容について即興で相手に伝える。 ● 例文テスト 	○	○	○
5 ～ 6	<ul style="list-style-type: none"> ● パフォーマンステスト【話すこと[やり取り]】 写真について、不定詞を用いて説明する。 	○	○	○
後日	<ul style="list-style-type: none"> ● ペーパーテスト 初めて聞いたり読んだりする英文からも出題されます。 ● 日頃の取り組みについての提出物 	○	○	

活動状況を見取り、学習や指導に生かすための評価は毎時間行います。

1 単元名：

情報デザイン(実習)

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
情報デザインの意味や問題発見の重要性について理解している。また、評価の手法の種類や得られる情報について理解し、試作を作成するためのソフトウェア操作の技能を身に付けている。	身近な問題を考え、情報デザインの考えをもとに伝えたい情報を表現することができる。また、適切な評価の手法を選択しメディアにあった表現を考え要件に基づいてラフ・試作品を表現できる。	情報デザインの力で問題解決に取り組もうとしている。また、評価・改善の取り組みの重要性を理解し、積極的にアイデアを出し他者の意見を尊重しながら問題を解決しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(4)時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<p>実習を通して、情報デザインのプロセスと問題の発見についての演習を行う。</p> <p>・振り返りシートにより単元の学習を振り返る。</p>		○	○	<p>【思考・判断・表現】 プリントの記述の確認</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析</p>
2 (3)	<p>前回の演習の成果物をもとに、ピクトグラムツールで作品作りの演習を行う。</p> <p>・振り返りシート、実習データにより単元の学習を振り返る。</p>	○	○		<p>【知識・技能】 プリントの記述の確認</p> <p>【思考・判断・表現】 「振り返りシート」の記述の分析</p>
後日	<p>・定期テスト</p>	○			<p>【知識・技能】 定期テスト</p>

1 単元名：

情報通信ネットワークのしくみ

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
情報通信ネットワークを構成する要素とその役割やプロトコルとIPについて理解している。また、情報セキュリティに求められる3つの要素や暗号化のしくみや認証技術について理解している。	目的や状況に応じて、情報通信ネットワークにおける構成要素を選択することができ、コンピュータネットワークでどのように情報がやり取りされているか説明することができる。また、認証技術や暗号化のしくみについて説明することができ、適切な使用を判断できる。	情報通信ネットワークに興味を持ち、主体的に活用しようとしている。また、情報セキュリティの科学的な理解に努め、情報通信ネットワークを適切に活用しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(4) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	教科書やプリントを通して、コンピュータネットワークの全体像と接続についてのまとめを行う。 ・振り返りシートおよびデジタル課題により単元の学習を振り返る。	○			【知識・技能】 プリントの記述の確認 デジタルデータの確認 【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析 「デジタル課題」の内容の分析
2 (2)	教科書やプリントを通して、データ転送のしくみと暗号化・認証技術についてのまとめを行う。 ・振り返りシートおよびデジタル課題により単元の学習を振り返る。	○		○	【知識・技能】 プリントの記述の確認 デジタルデータの確認 【思考・判断・表現】 「振り返りシート」の記述の分析 「デジタル課題」の内容の分析
後日	・定期テスト	○			【知識・技能】 定期テスト

1 単元名：

情報システムとデータベース

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
身のまわりにある情報システムや情報システムとデータベースの関係について理解している。また、さまざまなデータベース管理システムについて理解している。	情報システムを構成する技術が各種分野でも利用されていることが考えられる。データモデルの違いを考え、データモデルの種類に応じて設計することができ、さまざまなデータベース管理システムについて説明することができる。	現状、活用している情報システムを知ること、普段気づいていない情報システムについても主体的に調べようとし、未来の情報システムを想像しようとしている。また、さまざまなデータベース管理システムについて利用されている活用例を主体的に調べ、理解を深めようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(6)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (6)	教科書やプリントを通して、情報システムとデータベース管理システムの役割についてのまとめを行う。 ・振り返りシートおよびデジタル課題により単元の学習を振り返る。	○			【知識・技能】 プリントの記述の確認 デジタル課題の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ○ 「振り返りシート」の記述の分析 「デジタル課題」の内容の分析
後日	・定期テスト	○			【知識・技能】 定期テスト

指導と評価の計画

教科名：

情報

科目名：

情報 I

1 単元名：

データの活用

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
データ分析の手順や量的データ・質的データの違いについて理解している。また、テキストデータの処理方法やWebサービスを利用しないテキストデータを分析する方法について理解している。	データ収集方法によるメリット・デメリットを判断し、適切な方法で実習のためのデータ収集ができる。また、身のまわりのデータを分類し、表計算ソフトウェアを利用して数値データの分析・表現することができる。	数値データの分析は身のまわりのどのような場面で活用されているか、観察しようとしている。また、実際のテキストデータから特徴を抽出しようと試行錯誤し、改善しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(7)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (7)	教科書やプリントを通して、問題解決におけるデータの収集・整理・分析についてのまとめを行う。 ・振り返りシートおよびデジタル課題により単元の学習を振り返る。	○	○		【知識・技能】 プリントの記述の確認 デジタルデータの確認 【思考・判断・表現】 「振り返りシート」の記述の分析 「デジタル課題」の内容の分析
後日	・定期テスト	○			【知識・技能】 定期テスト

1 単元名：

コンピュータのしくみ

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
コンピュータの基本的な構成やソフトウェアの種類やOSの役割などを理解している。また、CPUのしくみとメインメモリの役割について理解し、論理回路を組み合わせたものから自分で真理値表を作成する技能や2進法の表現方法を身に付けている。	コンピュータを構成する各装置とデータの流れと制御の流れやOSの役割などについて説明することができる。また、論理回路を組み合わせたものから自分で真理値表を作成することや、2の補数・浮動小数点数を表現できる。	スマートフォンの内部をインターネットで調べる活動や、インタフェースを確認する活動に積極的に取り組もうとしている。また、自ら真理値表を考え作成することや、理解を深めるために、2進法のさまざまな計算することに主体的に取り組もうとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(3) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	教科書やプリントを通して、コンピュータの基本的な構成・ソフトウェアやOSについてのまとめを行う。 ・振り返りシートおよびデジタル課題により単元の学習を振り返る。	○			【知識・技能】 プリントの記述の確認 デジタルデータの確認 【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析 「デジタル課題」の内容の分析
2 (2)	教科書やプリントを通して、CPUとメモリ・2進法による計算についてのまとめを行う。 ・振り返りシートおよびデジタル課題により単元の学習を振り返る。		○		【思考・判断・表現】 プリントの記述の確認 デジタルデータの確認 【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析 「デジタル課題」の内容の分析
後日	・定期テスト	○			【知識・技能】 定期テスト

指導と評価の計画

教科名：

職業

科目名：

職業と生活 I

1 単元名：

速度入力

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①日本語の文章をタイピングしたり、体裁を整えたりすることができる。 ②クロームブックでクラスルームを利用して、課題を提出することができる。	報告・連絡・相談といった、仕事をするうえで必要なコミュニケーションを取ることができる。	様々な作業や技能に対し興味を持って関わろうとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(12)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (4)	<ul style="list-style-type: none"> 目標を記入し、確認する。 オアシスヨを唱和する。 タイピング練習をする。 クロームブックの使い方。 文章入力の練習をする。 授業内容を書く。 振り返りを書く。 	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	【知識・技能】 授業への取り組み、プリントの記述内容 【思考・判断・表現】 振り返りの記入内容 【主体的に学習に取り組む態度】 オアシスヨの練習の様子、振り返りの記述状況
2 (4)	<ul style="list-style-type: none"> 目標を記入し、確認する。 オアシスヨを唱和する。 タイピング練習をする。 クロームブックの使い方。 文章入力の練習をする。 (入力速度の向上を目指す) 授業内容を書く。 振り返りを書く。 	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	【知識・技能】 授業への取り組み、プリントの記入内容 【思考・判断・表現】 授業への取り組み、振り返りの記述内容 【主体的に学習に取り組む態度】 オアシスヨの唱和の様子 振り返りの記入状況
3 (4)	<ul style="list-style-type: none"> 目標を記入し、確認する。 オアシスヨを唱和する。 タイピング練習をする。 文章入力の練習をする。 (書式を整えるなどビジネス文書の作成をする) 授業内容を書く。 振り返りを書く。 	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	【知識・技能】 プリントの記入内容 入力練習での技能の向上 【思考・判断・表現】 授業への取り組み、振り返りの記述内容 【主体的に学習に取り組む態度】 入力の練習への取り組み、振り返りの記述状況

指導と評価の計画

教科名：

職業

科目名：

職業と生活 I

1 単元名：

SSE (ソーシャルスキル教育)

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ルールやマナーについての知識を身に付けている。	身近な他者との関わりについて、ルールやマナーを踏まえて、場面に応じた行動を取ることができる。	他者との関わりに必要な知識や能力を身に付けようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(12)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (4)	<ul style="list-style-type: none"> 目標を記入し、確認する。 オアシスヨを唱和する。 身近なルールとマナー (自転車・スマートフォンを例として) 授業内容を書く。 振り返りを書く。 	○	○ ○ ○	○ ○ ○	<p>【知識・技能】 プリントの記入内容</p> <p>【思考・判断・表現】 プリントの記入内容</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 オアシスヨの唱和の様子 振り返りの記入状況</p>
2 (4)	<ul style="list-style-type: none"> 目標を記入し、確認する。 オアシスヨを唱和する。 働くときのルールとマナー (服装・身だしなみ・持ち物・言葉づかい) 授業内容を書く。 振り返りを書く。 	○	○ ○ ○	○ ○ ○	<p>【知識・技能】 プリントの記入内容</p> <p>【思考・判断・表現】 プリントの記入内容</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 オアシスヨの唱和の様子 振り返りの記入状況</p>
3 (4)	<ul style="list-style-type: none"> 目標を記入し、確認する。 オアシスヨを唱和する。 働くときのルールとマナー (アドバイスの受け方・アンガーマネジメント) 授業内容を書く。 振り返りを書く。 	○	○ ○ ○	○ ○ ○	<p>【知識・技能】 プリントの記入内容</p> <p>【思考・判断・表現】 プリントの記入内容</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 オアシスヨの唱和の様子 振り返りの記入状況</p>

指導と評価の計画

教科名：

職業

科目名：

職業と生活 I

1 単元名：

SSE（ソーシャルスキル教育）

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
働く上のルールやマナーについての知識を身に付けている。	他者との関わりの中で、特に怒りを覚える場面において、どのような態度でいるべきか理解し、適切に判断できる。	他者との関わりに必要な知識や能力を身につけようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(12) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (7)	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を確認する。 ・オアシスヨを唱和する。 ・働くときの服装と身だしなみを知る。 ・鏡を見ながら自分の服装を確認する。 ・内容をノートに書く。 ・服装や身だしなみのポイントをノートに書く。 ・2人組で身だしなみを確認する。 ・整理整頓について知る。 ・振り返りをノートに書く。 	○		○	<p>【知識・技能】 ノートの記入内容</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 オアシスヨの唱和の様子 振り返りの記入状況</p>
2 (5)	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を確認する。 ・オアシスヨを唱和する。 ・正しい言葉づかいについて知る。 ・アンガーマネジメントチェックを行う。 ・チェック内容をふまえ、「怒り」を学び直す。 ・内容をプリントに書く。 ・オアシスヨのテストを行う。 ・振り返りをノートに書く。 		○	○	<p>【思考・判断・表現】 プリントの記入内容</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 オアシスヨの唱和の様子 振り返りの記入状況</p>